

中 部 圏

都市整備区域建設計画（案）

都市開発区域建設計画（案）

[要旨]

平成18年6月

富山県・石川県・福井県・長野県・岐阜県  
静岡県・愛知県・三重県・滋賀県

## 目 次

1. 都市整備区域建設計画（案）要旨（愛知県・三重県）・・・・・・・・・・ 1
2. 富山・高岡区域都市開発区域建設計画（案）要旨（富山県）・・・・ 2
3. 金沢・小松区域都市開発区域建設計画（案）要旨（石川県）・・・・ 3
4. 福井・坂井区域都市開発区域建設計画（案）要旨（福井県）・・・・ 4
5. 長野・上田区域都市開発区域建設計画（案）要旨（長野県）・・・・ 5
6. 伊那谷区域都市開発区域建設計画（案）要旨（長野県）・・・・・・ 6
7. 岐阜区域都市開発区域建設計画（案）要旨（岐阜県）・・・・・・・・・・ 7
8. 高山区域都市開発区域建設計画（案）要旨（岐阜県）・・・・・・・・・・ 8
9. 東駿河湾区域都市開発区域建設計画（案）要旨（静岡県）・・・・・・ 9
10. 西駿河湾区域都市開発区域建設計画（案）要旨（静岡県）・・・・・・ 10
11. 遠州区域都市開発区域建設計画（案）要旨（静岡県）・・・・・・・・・・ 11
12. 東三河区域都市開発区域建設計画（案）要旨（愛知県）・・・・・・ 12
13. 伊勢区域都市開発区域建設計画（案）要旨（三重県）・・・・・・ 13
14. 琵琶湖東北部区域都市開発区域建設計画（案）要旨（滋賀県）・・・・ 14

(計画名)	都市整備区域建設計画
(策定主体)	愛知県・三重県
<p>(地域の課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中部国際空港、愛・地球博の成果・理念を活かしながら、世界に発信する産業・技術の中核圏域としてさらなる発展が期待されており、本区域の拠点性の向上、循環型社会の実現、広域交通ネットワークの整備を推進する必要がある。</li> <li>○ 大規模地震発生の切迫性の高まりや災害の教訓・課題等を踏まえながら、あらゆる災害に対応できる防災対策を確立する必要がある。</li> </ul> <p>(計画の概要)</p> <p>(1) 様々な分野での国際的な交流拠点づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>名古屋都心部における国際的な業務や高次の商業機能等の集積強化</u>に向け、産業労働センター(仮称)及びささしまライブ24地区整備を推進する。</li> <li>○ <u>中部臨空都市や四日市地区</u>等で、燃料電池や水素をはじめとする様々な新エネルギーの実証フィールドの集積、<u>研究開発機能の導入</u>をめざす。</li> <li>○ 民間経済団体等との連携による<u>国際会議や見本市、大規模イベントなどのコンベンション・メッセの誘致・開催</u>を検討する。</li> </ul> <p>(2) 環境先進圏域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ごみの減量化、廃棄物の適正処理の推進などにより、3Rを基調とし環境負荷が低減された持続可能な循環型社会(<u>ごみゼロ社会</u>)の実現をめざす。</li> <li>○ 燃料電池等新エネルギーの開発・普及、パーク・アンド・ライドの実施をはじめとする交通需要マネジメント施策など<u>自動車環境対策</u>を推進する。</li> <li>○ <u>伊勢湾の再生</u>に向け、水質の浄化対策、水循環の再生及び多様な生態系の回復などに向けた取組を推進する。</li> </ul> <p>(3) モノづくり産業の国際競争力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>本社機能や研究開発機能の集積、モノづくり人材及び新産業の育成</u>を図るとともに、中部国際空港、指定特定重要港湾の名古屋港及び四日市港などグローバルな産業活動を支える<u>国際交通基盤の重点的な整備</u>を推進する。</li> <li>○ 国際交通基盤の中部圏全体での活用に資する、第二東名・名神高速道路、名古屋環状2号線、東海環状自動車道等<u>広域交通ネットワーク</u>を整備する。</li> </ul> <p>(4) 安心・安全を実感できる地域社会の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 住宅や公共施設の耐震化の推進、海岸堤防等の整備及び地域防災力の強化等<u>地震防災対策</u>を計画的・効率的に推進する。</li> <li>○ 人にやさしい街づくりや、全ての外国人が住民として安心して暮らせる社会(<u>多文化共生社会</u>)の実現に向けた取組を推進する。</li> </ul>	

(計画名)	富山・高岡区域都市開発区域建設計画
(策定主体)	富 山 県
<p>(地域の課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>北陸新幹線の開業や東海北陸自動車道の全線開通など、基幹的な交通体系の整備による地域社会の経済活動や観光交流の活性化が期待されるが、一方で大都市への人口、購買力の流出などのストロー効果も懸念されることから、地域間競争に打ち勝つブランド化、交流人口の拡大、魅力ある都市づくり等を進め、地域経済に活力と競争力を生み出すことが求められている。</u></li> <li>○ <u>本格的な人口減少時代を迎え、全国に先駆けた少子化対策の実施や、中心市街地に都市機能を集積し、コンパクトなまちづくりを進めていくなど人口減少に対応した社会づくりが求められている。</u></li> </ul> <p>(計画の概要)</p> <p>(1) 三大都市圏や環日本海地域等と連携する広域高速交通体系の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>北陸新幹線の建設促進、東海北陸自動車道等の高規格幹線道路網の整備促進</u></li> <li>○ <u>日本海側の国際貿易拠点である伏木富山港の機能強化、高度化等の整備</u></li> <li>○ <u>環日本海交流の拠点空港である富山空港の計画的な施設整備</u></li> </ul> <p>(2) 定住の促進、交流人口の増加を図る都市基盤等まちづくりの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>富山市、高岡市を核に周辺市町村を包含した一体的な中核都市圏の形成</u> (生活基盤施設の充実、多様な都市機能の集積、都心部への居住の促進等)</li> <li>○ <u>高速交通体系の整備、情報通信基盤の整備による多様な地域との交流・連携</u></li> <li>○ <u>少子高齢化の進展に伴う人口減少時代の到来、高度情報社会に対応した質の高い生活及び多様な就業機会の確保対策の推進</u></li> </ul> <p>(3) 知恵と技術が活きる産業づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>多様な都市機能の集積によるコンパクトな市街地形成の推進など、魅力ある商業空間の形成、中心市街地の再生への支援と経営革新の推進</u></li> <li>○ <u>ITやデザイン、健康サービス業などの新しい分野の創業や人材育成の支援</u></li> <li>○ <u>地域の観光資源を活用した体験型観光、県境を越えた広域観光、外国人観光客の誘致による国際観光の促進</u></li> </ul> <p>(4) 環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>環日本海環境協力センターを中核拠点とした国際環境協力の推進</u></li> <li>○ <u>地球環境保全対策の推進、自然との共生や循環型社会の形成を通じた安全で健康な環境の確保</u></li> </ul>	



(計画名)	金沢・小松区域都市開発区域建設計画
(策定主体)	石川県
(地域の課題)	<p>○環日本海地域の中心に位置するという地理的優位性を背景に、豊かな自然環境、豊富な観光余暇資源、質の高い伝統文化、高等教育機関の集積等の優れた資源的特性を十分に活用して、地域の活性化へとつなげていく必要がある。</p>
(計画の概要)	<p>(1) <u>多様な連携・交流を支える交通・情報通信基盤の整備</u></p> <p>○北陸新幹線の整備、小松空港の地域グローバルゲートとしての整備、金沢港の物流拠点化を図り、連携・交流機能を強化する。</p> <p>○県土ダブルラダー構想による道路網の整備等を図るとともに、北陸自動車道の（仮称）白山インターチェンジ・小松空港インターチェンジ設置事業の具体化を図る。</p> <p>○ブロードバンド基盤整備を進め、多様な情報通信サービスの高度化を目指す。</p> <p>(2) <u>世界に開かれた地域づくりと国際観光コンベンション都市づくり</u></p> <p>○外国人留学生の受入れの拡充や国際交流施設・機能の充実を図るとともに、国際会議等の開催を促進するための支援制度の充実を図る。</p> <p>○食、祭り、歴史、文化財探訪、生活文化体験、自然探勝等の多様な目的に配慮し、<u>本区域ならではの味わいや良さを実感できる魅力ある観光地づくりの推進を図る。</u></p> <p>(3) <u>文化を活かした環日本海中核地域の形成</u></p> <p>○兼六園と並ぶ県都金沢のシンボルとなる金沢城公園の整備を進める。</p> <p>○北陸新幹線金沢開業に向け、<u>金沢駅周辺においては、北陸の玄関口の一つとして、交流の拠点性を高めるとともに、中心市街地においては、にぎわいづくりや都心軸へ誘導するための施策に取り組む。</u></p> <p>○金沢西部地区においては、北陸のみならず、環日本海も視野に入れた本店又は支店機能を有する業務系機能の集積を図る。</p> <p>(4) <u>安全、安心で活力と魅力ある地域づくりの推進</u></p> <p>○街路事業、土地区画整理事業等を推進するとともに、北陸新幹線開業を見据えた駅前広場や道路等の駅周辺の基盤整備を図る。</p> <p>○歩道、住宅等のバリアフリー化を推進するほか、住宅、下水道、都市公園、水辺環境等の整備を推進するとともに、スポーツ・レクリエーション施設や芸術文化施設の充実を図る。</p> <p>○災害のない地域づくりに向け、耐震補強や河川改修、ダム建設、治山、砂防、地すべり対策等を進める。</p> <p>(5) <u>豊かな暮らしを支える産業社会の形成</u></p> <p>○石川県産業革新戦略(平成17年3月策定)に基づき、①産学・産業間の連携による新産業の創造や次世代型企業の育成を図る。②産業人材の総合的な育成・確保を図る。③戦略的企業誘致の推進を図る。</p> <p>○九谷焼、加賀友禅等の伝統産業の振興を図る。</p> <p>○食の安全・安心や環境等に配慮しながら、低コスト・高品質の良質米や園芸作物等の産地づくりを推進する。</p>

(計画名)	福井・坂井区域都市開発区域建設計画
(策定主体)	福 井 県
(地域の課題)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>北陸新幹線および中部縦貫自動車道の早期建設等の高速交通体系の整備</u></li> <li>○ <u>産学官連携の強化、先端的なものづくり技術の開発、付加価値の高い新製品の開発・販売への支援・強化、農林水産業の活性化等</u></li> <li>○ <u>社会的に助けが必要な人たちに光が当たる「一人ひとりの命が輝く福祉」の実現、災害に強い県土づくり、有事やテロに対する対策の強化等</u></li> </ul>	
(計画の概要)	
(1) 総合的な交通体系の整備	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>北陸と首都圏および近畿圏を結び、地域を活性化させる重要な社会基盤である北陸新幹線については、平成16年の政府・与党申合せに基づき所要の事業を進めるとともに、早期の全線整備に向けた取組みを推進する。</u></li> <li>○ <u>高規格幹線道路である近畿自動車道敦賀線(舞鶴若狭自動車道)および中部縦貫自動車道については、本区域と近畿圏、中部圏との交流促進や災害時の代替迂回ルート機能を有する極めて重要な路線であり、早期整備を図る。</u></li> <li>○ <u>地域高規格道路である福井港丸岡インター連絡道路等を整備していくとともに、国道8号等本区域と隣接県を結ぶ広域連携に欠かせない路線について整備を促進する。</u></li> </ul>	
(2) ものづくり、新産業の創出による産業の活性化	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>新産業の創出に向けて、繊維などの地場産業で有している比較優位技術や原子力関連技術など5技術分野の技術開発を推進し、分散型発電・携帯エネルギーなど新たな4市場分野の産業クラスターを形成し、「最先端技術のメッカ」の実現を目指す。</u></li> </ul>	
(3) 「一人ひとりの命が輝く福祉」の実現、災害に強い県土づくり、有事やテロに対する対策の強化等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>基幹病院となる福井県立病院の再整備を進めるとともに、本県の優れたがん診断・治療技術を活かすため、陽子線がん治療施設を新たに整備する。</u></li> <li>○ <u>平成16年7月福井豪雨で被災した足羽川については、平成20年度までに集中的に河川激甚災害対策特別緊急事業により再度災害防止を図る。</u></li> <li>○ <u>国民保護法に基づく実動訓練で得られた成果を福井県国民保護計画に反映し、実効性あるものにするるとともに、隣接する府県との連携を強化し、県域を越えた避難や救援活動など広域的な体制を整備する。</u></li> </ul>	

(計画名)	長野・上田区域都市開発区域建設計画
(策定主体)	長野県
(地域の課題)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>総合的な交通ネットワークの形成を形成する必要がある。</u></li> <li>○ <u>北陸新幹線長野ー金沢間の開業に伴いJRから経営分離される信越本線長野ー直江津間の自律的経営が成り立つよう、利用者の増加と利便性の向上を図る必要がある。</u></li> <li>○ <u>情報通信基盤の高度化を進め、マルチメディアの活用を進める必要がある。</u></li> <li>○ <u>長野県の中核的地域にふさわしい都市機能を充実するとともに、整備された施設の有効活用を進める必要がある。</u></li> <li>○ <u>少子高齢社会に対応した地域の福祉の充実を図る必要がある。</u></li> </ul>	
(計画の概要)	
(1) 様々な交流の拡大	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>北陸新幹線長野ー白山総合車両基地間の建設、関越自動車道上越線の四車線化整備の推進するとともに、主要都市間を結ぶ道路、生活道路等の整備を推進し、総合的な交通ネットワークの形成を図る。</u></li> <li>○ <u>全国トップクラスの普及が進んでいるCATV網や自治体の情報センター等について、その高度な活用と高度情報化に対応した情報・通信基盤の整備を図る。</u></li> <li>○ <u>さわやかな自然、善光寺をはじめとする歴史的文化財、多くの温泉などの地域資源を生かした広域観光ネットワークの形成を図る。</u></li> </ul>	
(2) 自然と人、人と人との共生	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>上信越高原国立公園や聖山高原県立公園をはじめとする豊かな自然環境との調和を図り、景観に配慮しながら、街路、河川、下水道、住宅などの生活基盤を整備し、住みよい圏域の形成を推進する。</u></li> <li>○ <u>少子高齢社会の進行に対応し、福祉施設、医療施設の整備を進め、地域福祉の推進、安心して子どもを生み育てられる環境づくりを進める。</u></li> </ul>	
(3) 地域の活力の創造	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>県工業技術総合センターにある創業支援センター等を活用して新規創業や既存企業の新分野展開などを総合的に支援し、高度で特色ある産業の集積を図る。</u></li> <li>○ <u>地域営農システムの推進による農業生産基盤の整備や、農業経営者等の人材の育成など、気候・風土を生かした付加価値の高い農林業の振興を図る。</u></li> <li>○ <u>中心市街地の空洞化に対応するため、商店の経営力の向上や、商店街等の商業基盤整備等を通じて魅力あるまちづくりの推進を図る。</u></li> <li>○ <u>世界的な知名度や地域の特性を生かした自主的・主体的な地域づくりの取り組みや、地域づくりを担う人材の育成などを推進する。</u></li> </ul>	

(計画名)	伊那谷区域都市開発区域建設計画
(策定主体)	長野県
(地域の課題)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>総合的な交通ネットワークを形成する必要がある。</u></li> <li>○ <u>情報通信基盤の高度化を進め、マルチメディアの活用を進める必要がある。</u></li> <li>○ <u>生活基盤等の整備を推進し、より住みやすい地域づくりを進めるとともに、少子高齢社会に対応した地域の福祉の充実を図る必要がある。</u></li> <li>○ <u>自然と調和し景観に配慮した街並みを形成するとともに、三遠南信地域や県内他地域間の広域的な交流を進め、連携を強めていく必要がある。</u></li> </ul>	
(計画の概要)	
(1) 様々な交流の拡大	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>三遠南信道路、伊那木曾連絡道路、中央新幹線の調査を進めるとともに、主要都市間を結ぶ道路、生活道路等の整備を推進し、総合的な交通ネットワークの形成を図る。</u></li> <li>○ <u>全国トップクラスの普及が進んでいるCATV網について、その高度な活用と高度情報化に対応した情報・通信基盤の整備を図る。</u></li> <li>○ <u>特色ある伝統芸能、自然、郷土食等の地域資源を生かし、地域の活力を創出する広域イベントの開催などにより、交流の拡大を図る。また、三遠南信道路線の整備を視野に入れながら、広域的な観光ルートの整備等により、魅力ある観光レクリエーションゾーンの形成を図る。</u></li> </ul>	
(2) 自然と人、人と人との共生	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>南信州の雄大で豊かな自然環境との調和を図り、景観に配慮しながら、街路、河川、下水道、住宅などの生活基盤を整備し、住みよい圏域の形成を推進する。</u></li> <li>○ <u>大規模地震対策特別措置法に基づく地震防災対策強化地域に指定されていることから、地震防災計画に基づく防災体制の確立と地震対策緊急整備事業の推進を図る。</u></li> </ul>	
(3) 地域の活力の創造	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>新規創業や既存企業の新分野展開などを総合的に支援するとともに、産学官交流などを進め、高度先端技術産業の拠点地域の形成を図る。</u></li> <li>○ <u>天竜川河岸段丘などの整備された農業生産基盤や地域特性を生かし、効率的な経営体の育成や地域営農システムの推進など、気候・風土を生かした付加価値の高い農林業の振興を図る。</u></li> <li>○ <u>地域の特性を生かした自主的・主体的な地域づくりの取り組みや、地域づくりを担う人材の育成などを推進する。</u></li> </ul>	



(計画名)	岐阜区域建設計画
(策定主体)	岐阜県
(地域の課題)	<p>○中部圏との広域的な連携を視野に入れ、交通ネットワークの一層の整備を図るとともに、既に整備された中部国際空港等の社会資本を活用し、企業誘致や観光・交流産業等の振興を図る必要がある。また、経済環境の変化に対応して、次世代産業の育成や既存産業の高度化を図ることも重要である。</p> <p>○人口減少や高齢化等の社会経済の変化に対応していくため、各都市の状況に合ったまちづくりを進めていくことが重要な課題となる。また、防災、防犯、バリアフリーなど安全で安心して暮らせるまちづくりも求められている。</p>
(計画の概要)	<p>(1) <u>中部圏との連携を重視した産業振興</u></p> <p>○東海地域を一つの経済圏として捉えた「グレーター・ナゴヤ」の統一ブランドのもと海外企業誘致に取り組むなど、<u>企業誘致を推進する</u>。</p> <p>○商品企画力、技術力、販売力等の強化やブランド力の向上など、産業の基幹を支える<u>中小企業支援を推進する</u>。</p> <p>○ソフトピアジャパンやテクノプラザ等の各プロジェクトを推進するとともに、ベンチャー企業に対する支援を推進し、<u>新産業の育成を図る</u>。</p> <p>(2) <u>「美濃路」の観光振興</u></p> <p>○愛・地球博を契機として向上した知名度や空港、道路等の社会資本を生かし、県内各地や中部圏との連携のもと、<u>国際観光や広域観光を推進する</u>。</p> <p>○地場産業等が持つ観光資源としての魅力の発掘等により産業観光を推進するなど、<u>観光の魅力づくりを推進するとともに、イベント・コンベンションの誘致を推進する</u>。</p> <p>(3) <u>にぎわいと潤いのあるまちづくり</u></p> <p>○高齢者等をはじめ、多くの人々が安全で安心して暮らしやすいよう都市機能を集約するなど、各都市の状況に合った「<u>にぎわいと潤いのあるまちづくり</u>」を、地域住民、まちづくり団体と一体となって推進する。</p> <p>(4) <u>交通ネットワークの整備</u></p> <p>○東海環状自動車道西回りルートをはじめとする道路の整備を進め、人、物、情報が円滑に流れる総合的な道路ネットワークの形成を図る。</p> <p>○鉄道駅等のバリアフリー化を進めるとともに、輸送力増強や所要時間短縮を図るため、JR高山本線と太多線の複線電化の実現に向けて検討を進める。</p> <p>○中部圏と首都圏、近畿圏との交流や連携の一層の強化につながる<u>中央新幹線の実現に向けて検討を進める</u>。</p>

(計画名)	高山区域建設計画
(策定主体)	岐阜県
(地域の課題)	<p>○中部圏との広域的な連携を視野に入れ、産業や住民生活の基盤となる交通ネットワークの一層の整備を図るとともに、高速道路網等の社会資本を有効に活用し、観光・交流産業等の一層の振興を図る必要がある。また、経済環境の変化に対応して、地場産業等の競争力強化を図ることが重要である。</p> <p>○人口減少や高齢化等の社会経済の変化に対応しつつ、飛騨地域の中核都市として都市機能を集積するとともに歴史的景観の保全等を図ることが重要な課題となる。また、防災、防犯、バリアフリーなど安全で安心して暮らせるまちづくりも求められている。</p>
(計画の概要)	<p>(1) <u>歴史や文化を生かした観光・交流都市づくり</u></p> <p>○歴史的遺産、伝統文化、伝承芸能、食文化、温泉資源、山岳森林景観等の豊かな地域資源を生かし、人々の心を魅了する<u>滞在型・通年型の観光地づくりを推進する。</u></p> <p>○伝統工芸品産業等の特色ある地場産業等が持つ観光資源としての魅力を発掘し、<u>産業観光を推進する。</u></p> <p>○県内各地はもとより中部圏との連携のもと、<u>広域的な観光ルートづくりや効果的な情報発信、海外からの誘客等</u>を図るとともに、<u>イベント・コンベンションの誘致を推進する。</u></p> <p>(2) <u>地場産業の高付加価値化、ブランド化</u></p> <p>○飛騨の匠の技術と伝統を生かした木材関連工業や伝統工芸品産業等の特色ある地場産業について、高付加価値化やブランド化を推進する。</p> <p>(3) <u>飛騨地域の玄関口としての都市整備</u></p> <p>○道路、公園、上下水道、その他の都市施設等の<u>都市基盤の整備を進めるとともに、情報通信機能や防災機能など都市機能の充実を図り、飛騨地域の玄関口にふさわしい都市整備を推進する。</u></p> <p>○地域に残る美しい歴史的景観や農山村景観等の<u>個性ある景観の保全を推進する。</u></p> <p>(4) <u>交通ネットワークの整備</u></p> <p>○広域的な幹線道路や、市中心部の道路交通の円滑化を図る環状道路網など、<u>総合的な道路ネットワークの整備を推進する。</u></p> <p>○JR高山駅や周辺地区のバリアフリー化を進めるとともに、<u>JR高山本線の複線電化の実現に向けて検討を進める。</u></p>

(計画名)	東駿河湾区域建設計画
(策定主体)	静岡県
(地域の課題)	
<p>(1) 地域独自の文化や活力を生み出す、中核的な都市における都市機能の充実、周辺都市を含めた広域的な連携の強化</p> <p>(2) 健康や医療、医薬品などの研究開発等を軸とした新産業の創出、既存産業の高度化</p> <p>(3) 富士山等の豊かな自然環境、首都圏への近接性等を活かした交流人口の拡大</p> <p>(4) 広域的な交流・連携を図るための交通基盤の整備と高度情報社会の進展に対応した情報通信基盤の整備</p>	
(計画の概要)	
<p>(1) <u>首都圏に隣接した、県の東の玄関口にふさわしい100万人都市圏の形成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 中核都市を中心とした高次都市機能の集積・強化を図り、地域内の特色ある都市間の連携を促進する。</li> <li>・ 沼津駅周辺において、都市基盤の充実強化を図るため、鉄道高架事業など、沼津駅周辺総合整備事業を進める。</li> </ul> <p>(2) <u>富士山麓先端健康産業集積（ファルマバレー）プロジェクトの推進などによる新たな産業の創出、既存産業の高度化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 医療・研究機能の一層の集積を進め、静岡がんセンター研究所等を中核施設とする産学官が連携した研究開発等により、新事業・新産業の創出を促進する。</li> <li>・ 2007年ユニバーサル技能五輪国際大会を契機に、地域産業の技術・技能水準の向上を図る。</li> </ul> <p>(3) <u>富士山をはじめとする世界に誇れる環境の保全と美しい景観の形成・活用</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富士山総合環境保全指針に基づき富士山の環境の保全を図るとともに、富士山を生かした大空間の景観形成を進める。</li> <li>・ 世界文化遺産登録に向けた取組を進めるとともに、観光プログラムの開発、広域周遊ルートの設定等により国際的観光交流のメッカづくりに取り組む。</li> </ul> <p>(4) <u>広域的な交流を促す交通・情報ネットワークの構築</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第二東名高速道路や伊豆縦貫自動車道の整備を図る。</li> <li>・ 混雑度の高い東西幹線道路や南北道路の拡充・強化、新交通システムの検討を進める。</li> <li>・ 田子の浦港、沼津港の物流機能や防災拠点機能の充実とともに、情報通信基盤の整備を進める。</li> </ul>	

(計画名)	西駿河湾区域建設計画
(策定主体)	静岡県
(地域の課題)	<p>(1) 本県の中核をなす地域にふさわしい、情報化や国際化に対応したより高次な都市機能の整備及び空港を生かした地域づくり</p> <p>(2) 駿河湾深層水や茶・みかん等の機能性食品など、地域資源を活かした新産業の創出、既存産業の高度化</p> <p>(3) 南アルプス等の貴重な自然の保全と地域資源の活用による地域の活性化</p> <p>(4) 広域的な交流・連携を図るための交通基盤の整備と高度情報社会の進展に対応した情報通信基盤の整備</p>
(計画の概要)	<p>(1) <u>県都にふさわしい高次都市機能の強化及び新たな玄関口となる空港周辺地域の都市基盤の充実</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東静岡駅周辺において情報・文化交流の拠点として高次な都市機能の集積・強化を図り、内外に向けた情報発信や多彩な交流活動を進めていく。</li> <li>・ 平成21年3月の開港を予定している<u>空港の周辺地域の都市基盤の整備を進める。</u></li> </ul> <p>(2) <u>食品・医薬品・化成品産業集積（フーズ・サイエンスヒルズ）プロジェクト及びしずおかコンテンツバレー構想の推進等による新たな時代を拓く活力ある産業の育成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産学官連携のもと、駿河湾深層水や茶・みかん等を活用した機能性食品の研究開発等の促進により<u>新事業・新産業を創出する。</u></li> <li>・ 音楽、映像、アニメなど、各種の情報を創造するコンテンツ産業の創出をめざす。</li> </ul> <p>(3) <u>南アルプスから安倍川、大井川、駿河湾へと続く優れた自然を保全・活用するための流域連携の促進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 大井川・安倍川の流域の人々が連携して、駿河湾沿岸まで広がる貴重な自然環境を保全する。</li> <li>・ 地域資源の活用や新たな魅力を創出することにより、来訪者の誘致と多面的な交流を進め、地域の活性化を図る。</li> </ul> <p>(4) <u>広域的な交流を促す総合的交通・情報ネットワークの構築</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>静岡空港や、第二東名高速道路、中部横断自動車道、清水港、御前崎港等の整備を進める。</u></li> <li>・ 周辺アクセス道路と連携し、陸・海・空の総合的な交通基盤を整備するとともに、情報通信基盤の整備を進める。</li> </ul>



(計画名)	遠州区域建設計画
(策定主体)	静岡県
(地域の課題)	
(1) 政令指定都市をめざした魅力ある都市づくりの推進と周辺都市における機能強化、連携	
(2) 世界的な光技術の集積を活かした新産業の創出、既存産業の高度化	
(3) 浜名湖等の環境の保全と新たな魅力の発信	
(4) 広域的な交流・連携を図るための交通基盤の整備と高度情報社会の進展に対応した情報通信基盤の整備	
(計画の概要)	
(1) <u>世界に誇るものづくりと文化の融合した地域をめざした、都市機能の充実強化</u>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 都市機能の高度化を図るため、鉄道高架事業、市街地再開発事業等の基盤整備を進めるとともに、<u>高付加価値のものづくり産業を支援する浜北新都市や掛川市新エコポリス工業団地等の整備を促進する。</u></li> <li>・ 静岡文化芸術大学や小笠山総合運動公園等を核とした文化・スポーツ情報を発信する。</li> </ul>	
(2) <u>光・電子技術関連産業集積（フォトンバレー）プロジェクトの推進等による世界に誇る先端技術産業の集積推進</u>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 産学官が連携した研究開発や大学院大学による人材の育成などにより、光電子産業の一層の集積を促進するとともに、<u>既存産業の高度化や新たな産業の創出を図る。</u></li> </ul>	
(3) <u>浜名湖、遠州灘等の環境の保全及び花と緑があふれる地域づくりの推進</u>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 浜名湖、佐鳴湖、遠州灘等の環境を保全し、自然と共生した快適な生活空間の形成を図る。</li> <li>・ <u>浜名湖ガーデンパーク</u>を庭園や園芸等の文化の情報発信拠点として活用する。</li> <li>・ 豊かな自然や景観、文化など、地域の資源を活用することにより、来訪者の誘致と多面的な交流を進め、地域の活性化を図る。</li> </ul>	
(4) <u>広域的な交流を促す交通・情報ネットワークの構築</u>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>第二東名高速道路、三遠南信自動車道、地域高規格道路等の整備や伊勢湾口道路の構想を進める。</u></li> <li>・ 静岡空港、御前崎港、第二東名高速道路へのアクセス道路の整備を進めるとともに、情報通信基盤の整備を進める。</li> </ul>	

(計画名)	東三河区域都市開発区域建設計画
(策定主体)	愛知県
(地域の課題)	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他地域での交通基盤整備の進展により、国土の中央に位置する地理的特性・恵まれた交通条件等本区域の持つ優位性が相対的に低下しており、産業の活性化が求められている。</li> <li>○ 地域経済を支える三河港の物流機能の強化や高速道路へのアクセス道路の整備等を図る必要がある。</li> <li>○ 大規模地震発生の切迫性の高まりや災害の教訓・課題等を踏まえながら、あらゆる災害に対応できる防災対策を確立する必要がある。</li> </ul>	
(計画の概要)	
(1) 三河港を核とする広域物流ネットワークの形成	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 世界につながる国際的な産業・物流拠点の形成に向け、自動車を取り扱う岸壁及びコンテナを取り扱う機能の強化など、<u>三河港の物流機能の強化</u>を図る。</li> <li>○ 三河港と近隣地域との広域連携強化を視野に、<u>第二東名高速道路、三遠南信自動車道、名豊道路の整備</u>やこれらへのアクセス機能の強化を図るとともに、伊勢湾口道路構想等を推進する。</li> </ul>	
(2) 潜在的な発展可能性を活かした地域産業の活性化	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 豊橋技術科学大学を中心とする産学官連携について、豊橋サイエンスコアを拠点として一層推進するとともに、<u>既存産業と農産物など地域資源の融合による健康長寿分野での取組等により、次世代産業クラスターの形成</u>をめざす。</li> <li>○ <u>IT やバイオ分野の研究開発やその活用など農・工の連携</u>を図ることにより、新しい農業の展開をめざす。</li> </ul>	
(3) 暮らしやすさを実感できる地域社会の形成	
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 住宅や公共施設の耐震工事の推進、海岸堤防等の整備及び地域防災力の強化など<u>地震防災対策を計画的・効率的に推進</u>する。</li> <li>○ <u>安定的な水供給を確保するために、設楽ダム建設事業の早期着工と豊川用水二期事業の早期完成</u>をめざす。</li> <li>○ 人にやさしい街づくりや、全ての外国人が住民として安心して暮らせる社会(<u>多文化共生社会</u>)の実現に向けた取組を推進する。</li> </ul>	

(計画名)	伊勢区域都市開発区域建設計画
(策定主体)	三重県
<p>(地域の課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 豊かな自然や歴史文化などの資源に恵まれているが、十分に集客交流に活用できていないことから、平成25年に行われる伊勢神宮の式年遷宮に向けて、魅力ある都市空間づくりを行う必要がある。</li> <li>○ 快適なまちづくりを推進するための生活・都市基盤の整備や新たな企業の進出、産業の創出を図るための交通・産業基盤の整備が求められているとともに、資源循環型社会の構築が課題である。</li> <li>○ 東海、東南海・南海地震などの大規模地震の発生が切迫していることから、自助・共助・公助による地震対策とともに、減災のための更なる取組が必要である。</li> </ul> <p>(計画の概要)</p> <p>(1) ネットワーク形成のための基盤整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>第二名神高速道路等の高規格幹線道路</u>や国道23号中勢バイパス、国道42号松阪多気バイパス等の直轄国道の整備、及び「新道路整備戦略」に基づく県管理道路の整備を進めるとともに、中部国際空港へのアクセスルートの充実を図る。</li> </ul> <p>(2) 訪れたい地域づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>伊勢神宮の式年遷宮に向けて、観光客が訪れたいまちづくりを推進する。</u></li> </ul> <p>(3) 地域経済を支える戦略的な産業振興</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 産業技術の一翼を担う地域として、中勢北部サイエンスシティやニューファクトリーひさい工業団地等への<u>研究所や企業の誘致</u>を推進する。</li> <li>○ <u>フラットパネルディスプレイ(FPD)産業の集積を目指すクリスタルバレー構想や燃料電池研究開発の拠点化及び関連産業の集積</u>に取り組むとともに、環境関連産業の集積を目指して、エコタウン事業も展開する。</li> </ul> <p>(4) 快適なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 障害者や高齢者をはじめとするすべての住民が地域で自由かつ安全に行動できるよう<u>ユニバーサルデザイン</u>を取り入れた施設の整備を進める。</li> <li>○ 良好な景観に配慮した潤いのあるまちづくりを進めるとともに、流域下水道や公共下水道、都市公園、文化施設、福祉施設など、本県の中核機能を担うにふさわしい<u>都市・生活基盤の整備</u>を進める。</li> </ul> <p>(5) 環境保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ <u>伊勢湾</u>について、総合的・広域的な見地から、水環境の再生や多様な生態系の回復に向けた広域的な諸施策を推進する。</li> <li>○ <u>ごみゼロ社会の実現</u>に向けて、住民、事業者、市町と協働して取り組むとともに、産業廃棄物の発生抑制、再使用、再生利用を促進する。</li> </ul> <p>(6) 安全・安心を実感できる地域社会づくり</p> <p><u>東海、東南海・南海地震に対する減災のための取組</u>として、避難路等を整備するなどの避難体制を確立するとともに、公共施設等の耐震化を進める。</p>	

(計画名)	琵琶湖東北部区域都市開発区域建設計画
(策定主体)	滋賀県
(地域の課題)	
<p>○ 本県は、交通の利便性などを背景として、第2次産業に特化して発展してきた全国でも有数の内陸工業県であるが、<u>高速交通基盤の整備が全国的に進む中で、相対的な立地の優位性が低下しつつあることや、県外に本社機能を持つ大企業の工場立地が多いことから、景気の影響を強く受ける産業構造となっている。</u></p> <p>○ 国土交通の結節地域としての当該建設計画区域の優位性を活かすため、<u>鉄道網の整備をはじめとする広域的な交流機能を強化することにより、工業、商業、観光産業の振興を図る必要がある。</u></p> <p>○ 環境問題は、地球規模という空間的な広がり、および次世代にわたる影響という時間的な広がりを持つものとなっており、<u>持続可能な社会の構築が求められる中で、環境と調和のとれた開発整備と琵琶湖を中心とする環境保全の取り組みがより一層求められる。</u></p>	
(計画の概要)	
(1) 持続可能な発展を続ける社会の構築	
○ 自然と人間とがともに輝きながら、 <u>持続可能な発展を続ける社会の構築を目標として施策を進める。</u>	
(2) 本県の特性を活かした新しい産業の振興	
○ 東西交通網の結節点という地理的条件を活かした積極的な企業誘致や、産学官の多様なネットワーク形成による連携システムの構築などにより、 <u>バイオ等の新産業分野に係る研究開発機能とその生産機能等が集積する複合型の新しい産業創造拠点の整備を図る。</u>	
また、豊かな自然と観光資源を活かした観光地づくりに加え、 <u>新しいまちづくりが行われている彦根、長浜などと広域的な観光地づくりを進める。</u>	
(3) 広域的な交流機能を強化	
○ 工業、商業、観光産業等の振興や生活環境の向上のため、 <u>琵琶湖環状運行を図るための取組や、一般国道、県道、都市計画街路などの整備を推進する。</u>	
(4) 琵琶湖の総合的な保全	
○ 琵琶湖を21世紀における湖沼保全のモデルとして健全な姿で次世代に継承するため、「 <u>マザーレイク21計画－琵琶湖総合保全整備計画－</u> 」に基づき、 <u>水質の保全、水源のかん養、自然的環境・景観の保全の3つの観点から、県民事業者行政等のパートナーシップに基づき各種保全施策を総合的、計画的に推進する。特に、本区域北部の湖辺域では貴重な生態系や生物多様性を維持するため、早崎内湖の再生等ビオトープの拠点確保を図る。</u>	